

平成30年度 リハビリテーション部 クリニカルインディケーター

目次

- ・当院リハビリテーション算定内容
- ・リハビリテーション患者内訳
- ・月別新患内訳
- ・算定単位数

当院リハビリテーション算定内容

- ・脳血管リハビリテーション料(Ⅰ)
- ・廃用症候群リハビリテーション料(Ⅰ)
- ・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
- ・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
- ・がん患者リハビリテーション料

脳血管リハビリテーション料（Ⅰ） 施設基準

- ①専任の常勤医2名以上（1名は当該リハの3年以上の経験者又は研修会等の受講歴・講師歴がある者）
- ②専従の常勤理学療法士が5名以上
- ③専従の常勤作業療法士が3名以上
- ④専従の常勤言語聴覚士（兼任可）1名以上
- ⑤②～④の従事者総数10名以上
- ⑥専用の機能訓練室160㎡以上、言語聴覚療法は8㎡以上の個室
—————などが要件

脳血管リハビリテーション料の対象患者

- ①脳梗塞、脳出血、くも膜下出血その他の急性発症した脳血管疾患又はその手術後の患者
- ②脳腫瘍、脳膿瘍、脊髄損傷、脊髄腫瘍その他の急性発症した中枢神経疾患又はその手術後の患者
- ③多発性神経炎、多発性硬化症、末梢神経障害その他の神経疾患の患者
- ④パーキンソン病、脊髄小脳変性症その他の慢性の神経筋疾患の患者
- ⑤失語症、失語及び失行症並びに高次脳機能障害の患者
- ⑥難聴や人工内耳植込手術等に伴う聴覚・言語機能の障害を有する患者
- ⑦顎・口腔の先天異常に伴う構音障害を有する患者

廃用症候群リハビリテーション料（Ⅰ）施設基準

- ①脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）を届け出ている。
- ②脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）の施設基準における専任の常勤医師、専従の常勤理学療法士、専従の常勤作業療法士及び専従の言語聴覚士は、それぞれ廃用症候群リハビリテーション料（Ⅰ）の専任者又は専従者を兼ねるものとする

廃用症候群リハビリテーション料の対象患者

- ①急性疾患等に伴う安静（治療の有無を問わない）による廃用症候群の患者（一定程度以上の基本動作能力、応用動作能力、言語聴覚能力、日常生活能力の低下を来しているもの）

運動器リハビリテーション料（Ⅰ） 施設基準

- ①専任の常勤医1名以上
- ②専従の常勤理学療法士又は専従の常勤作業療法士が合わせて4名以上
- ③専用の機能訓練室100㎡以上
——— などが要件

運動器リハビリテーション料の対象患者

- ①上・下肢の複合損傷、脊椎損傷による四肢麻痺その他の急性発症した運動器疾患又はその手術後の患者
- ②関節の変性疾患、関節の炎症性疾患その他の慢性の運動器疾患により、一定程度以上の運動機能及び日常生活能力の低下を来している患者

呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ） 施設基準

- ①専任の常勤医1名以上
- ②専従の常勤理学療法士又は専従の常勤作業療法士が合わせて2名以上
（1名は当該リハの経験を有する専従の常勤理学療法士）
- ③専用の機能訓練室100㎡以上
————— などが要件

呼吸器リハビリテーション料の対象患者

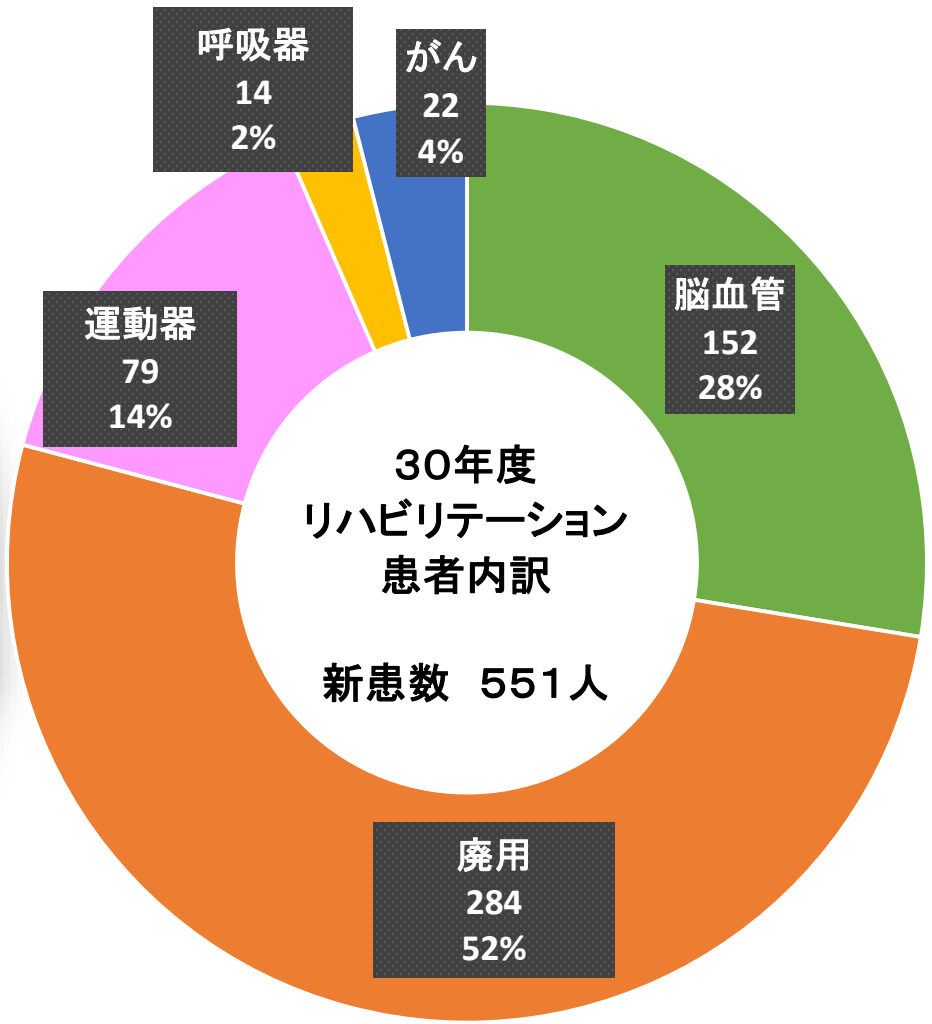
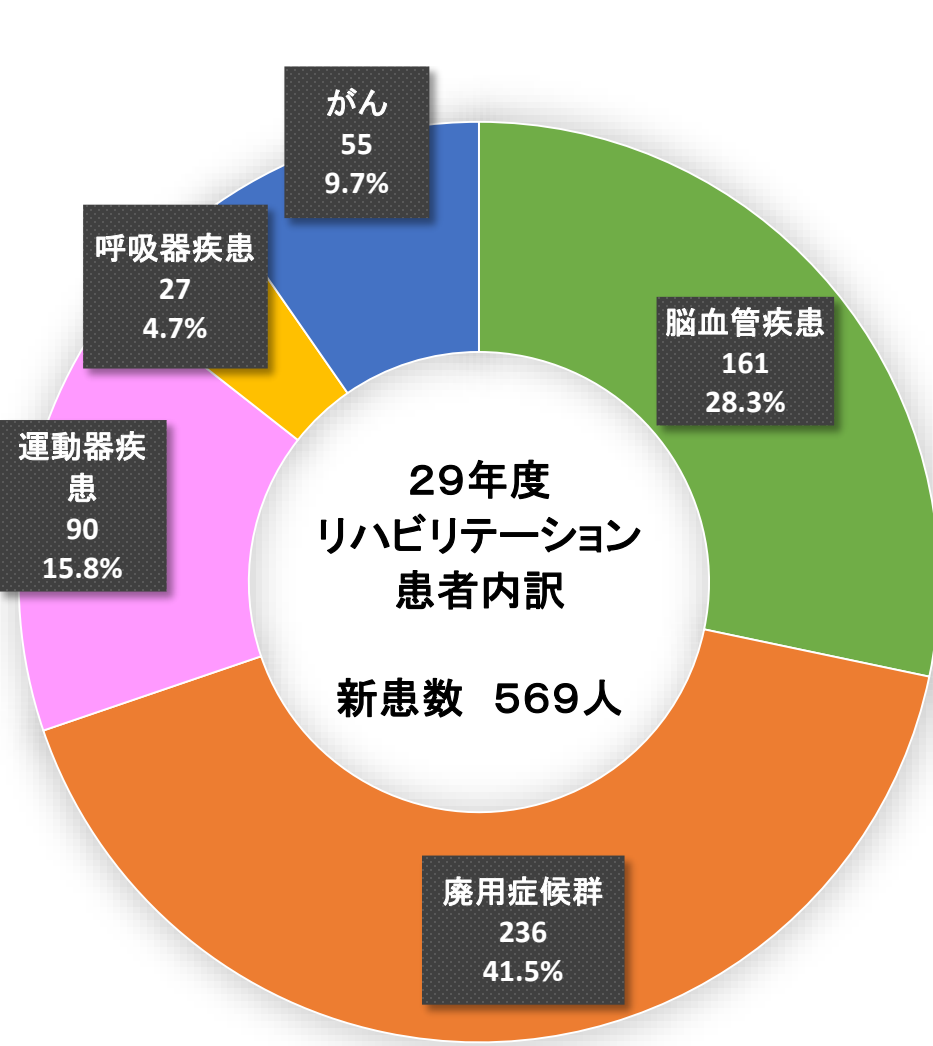
- ①肺炎、無気肺、その他の急性発症した呼吸器疾患の患者
- ②肺腫瘍、胸部外傷その他の呼吸器疾患又はその手術後の患者
- ③慢性閉塞性肺疾患（COPD）、気管支喘息その他の慢性の呼吸器疾患により、一定程度以上の重症の呼吸困難や日常生活能力の低下を来している患者
- ④食道癌、胃癌、肝臓癌、咽・喉頭癌等の手術前後の呼吸機能訓練を要する患者

がん患者リハビリテーション料 施設基準

- ①専任の常勤医1名以上
- ②専従の常勤理学療法士・常勤作業療法士又は常勤言語聴覚士を2名以上配置
- ③専用の機能訓練室100㎡以上
- ④脳血管リハビリテーション料・廃用症候群リハビリテーション料・運動器リハビリテーション料・呼吸器リハビリテーション料との併算定不可
——— などが要件

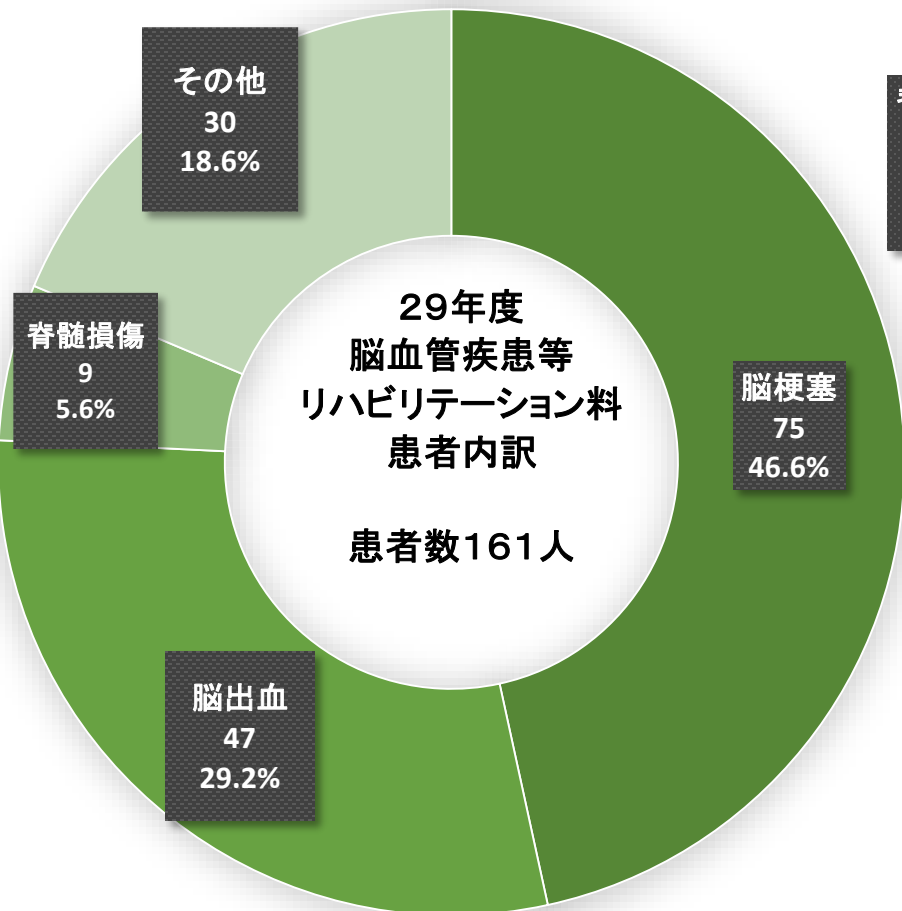
がん患者リハビリテーション料の対象患者

- ①食道がん、肺がん、縦隔腫瘍、胃がん、肝臓がん、胆嚢がん、大腸がん又は膵臓がんと診断された患者であって、これらのがんの治療のために入院している間に閉鎖循環式全身麻酔による手術が行われる予定のもの又は行われたもの
- ②舌がん、口腔がん、咽頭がん、喉頭がんその他頸部リンパ節郭清を必要とするがんと診断された患者であって、これらのがんの治療のために入院している間に放射線治療若しくは閉鎖循環式全身麻酔による手術が行われる予定のもの又は行われたもの
- ③乳がんとして診断された患者であって、乳がんの治療のために入院している間にリンパ節郭清を伴う乳腺悪性腫瘍手術が行われる予定のもの又は行われたもの
- ④骨軟部腫瘍又はがんの骨転移と診断された患者であって、これらのがんの治療のために入院している間にこれらの部位に対する手術、化学療法若しくは放射線治療が行われる予定のもの又は行われたもの
- ⑤原発性脳腫瘍又は転移性脳腫瘍と診断された患者であって、これらのがんの治療のために入院している間に手術若しくは放射線治療が行われる予定のもの又は行われたもの
- ⑥血液腫瘍と診断された患者であって、血液腫瘍の治療のために入院している間に化学療法若しくは造血幹細胞移植が行われる予定のもの又は行われたもの
- ⑦がんとして診断された患者であって、がんの治療のために入院している間に化学療法(骨髄抑制が見込まれるものに限る)が行われる予定のもの又は行われたもの
- ⑧緩和ケアを目的とした治療を行っている進行がん又は末期がんの患者であって、症状の増悪により入院している間に在宅復帰を目的としたリハビリテーションが必要なもの



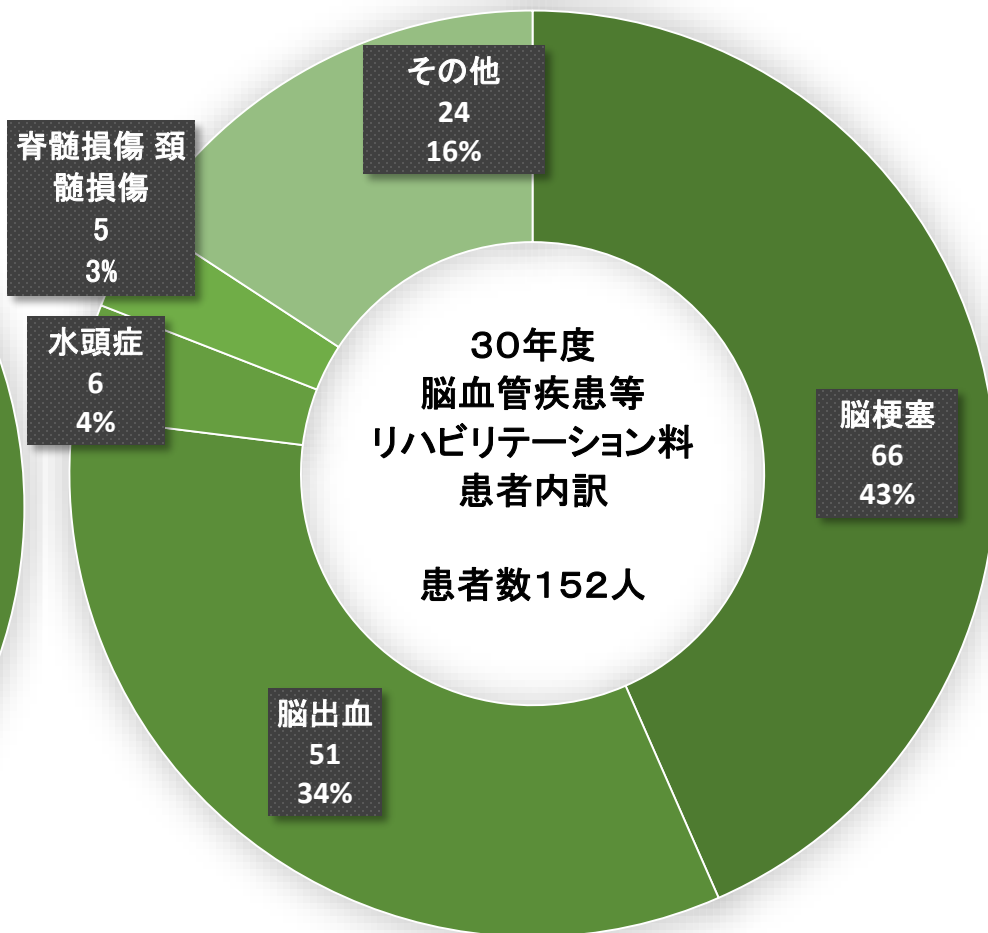
29年度
脳血管疾患等
リハビリテーション料
患者内訳

患者数161人



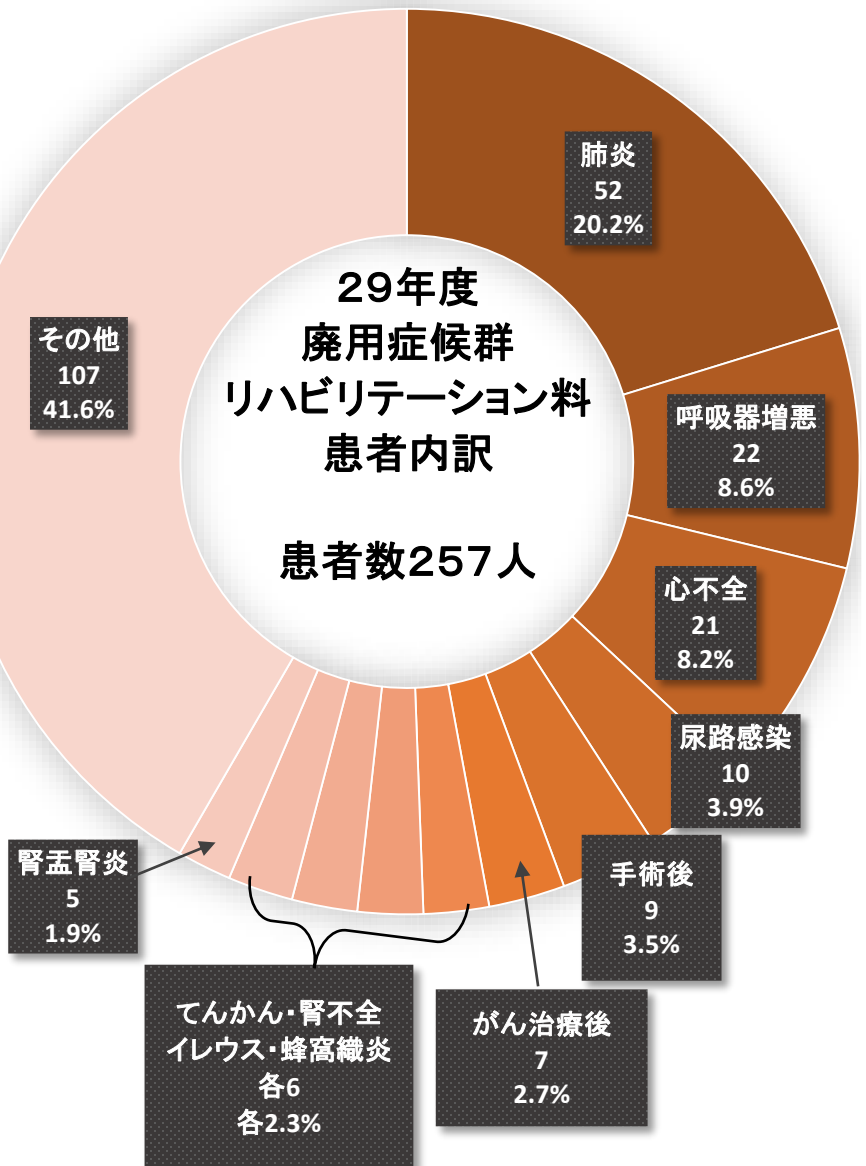
30年度
脳血管疾患等
リハビリテーション料
患者内訳

患者数152人



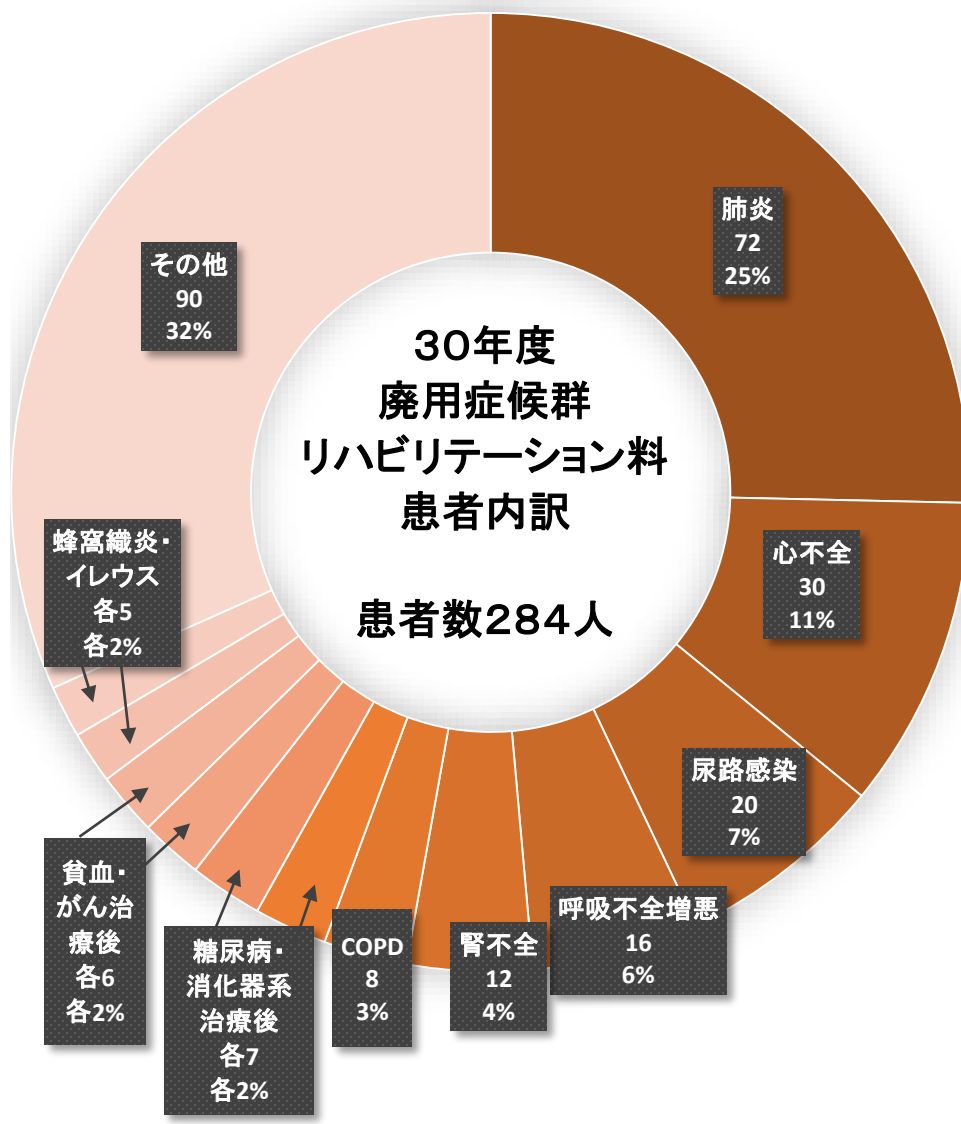
29年度
廃用症候群
リハビリテーション料
患者内訳

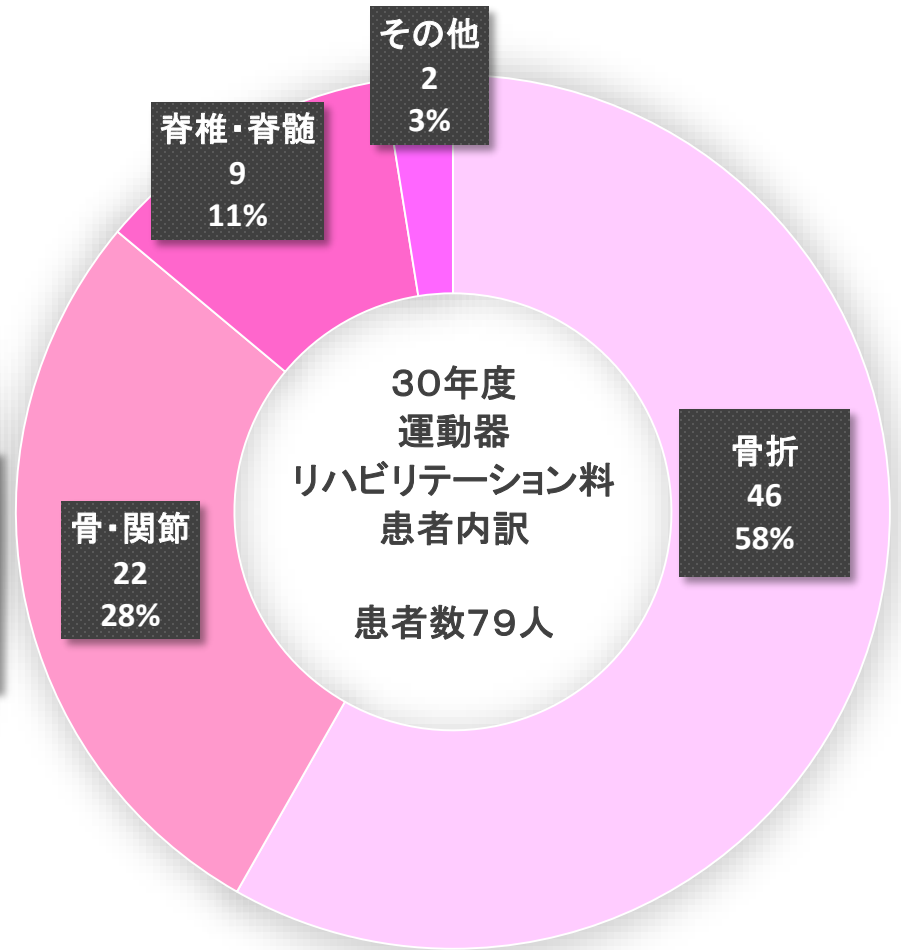
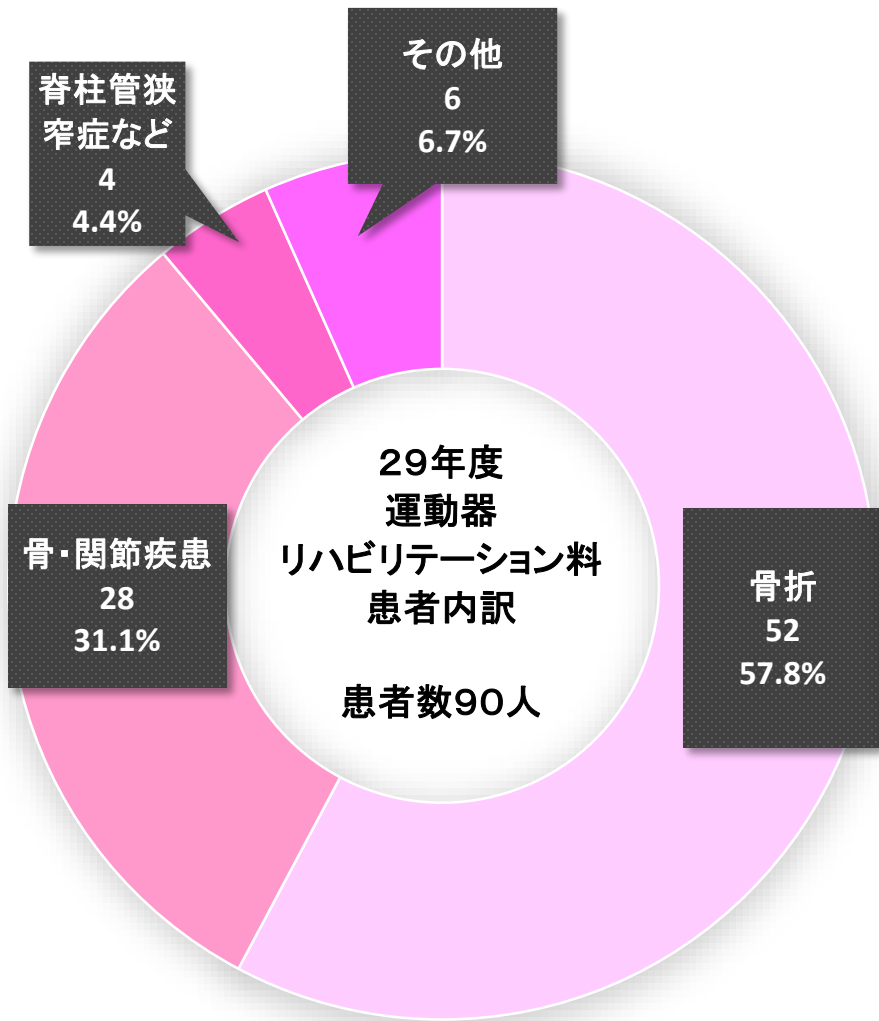
患者数257人

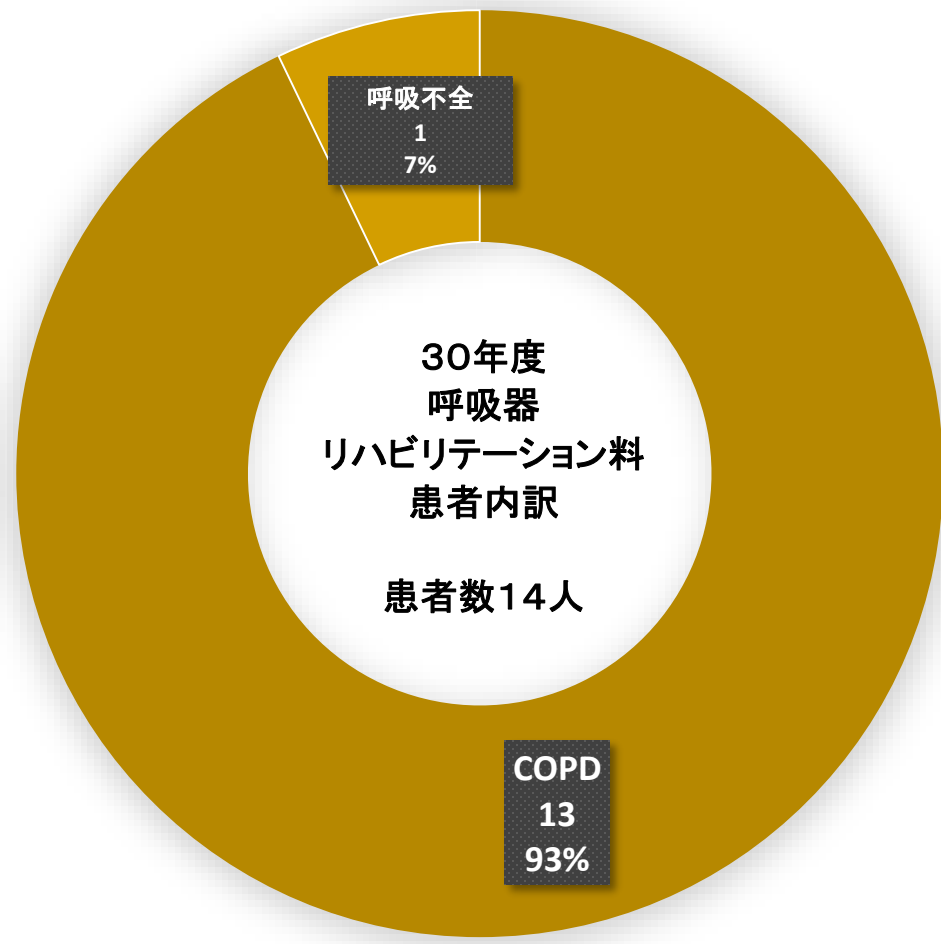
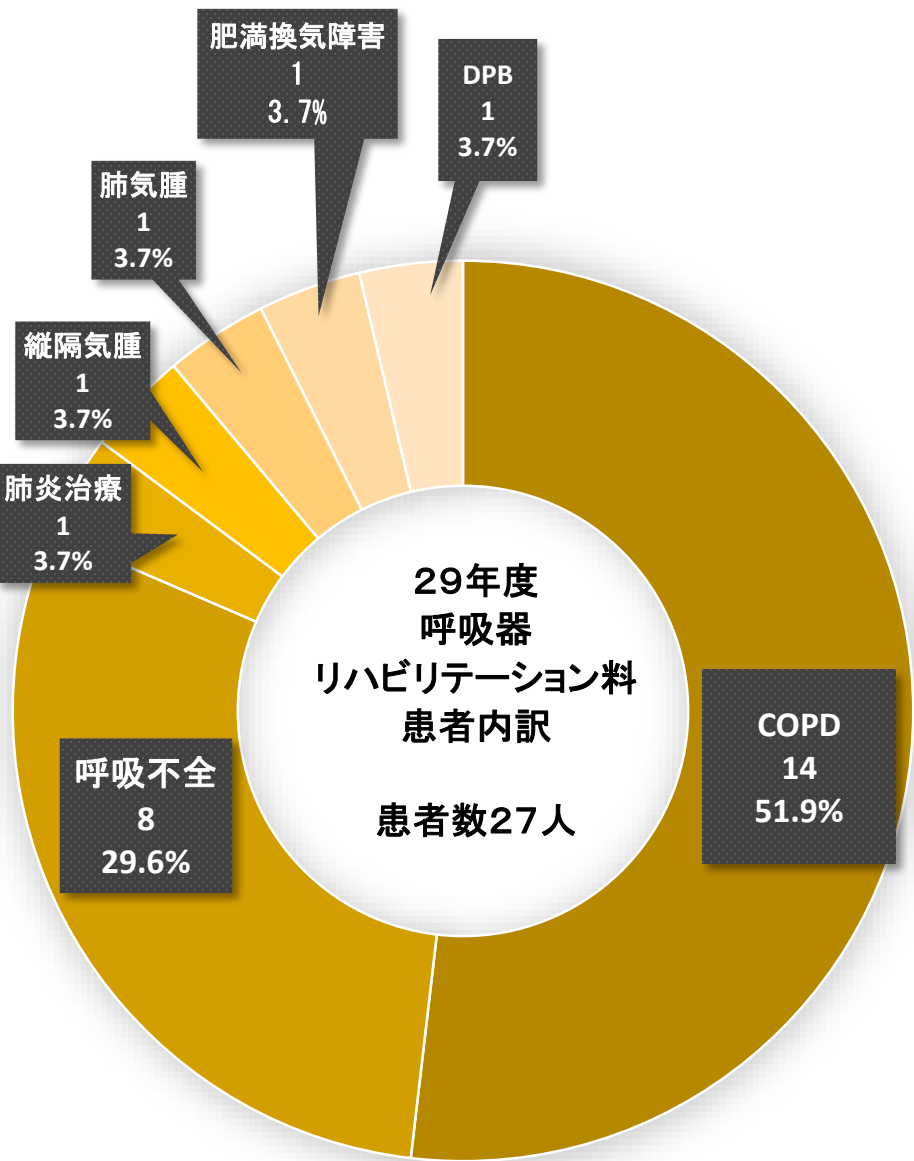


30年度
廃用症候群
リハビリテーション料
患者内訳

患者数284人



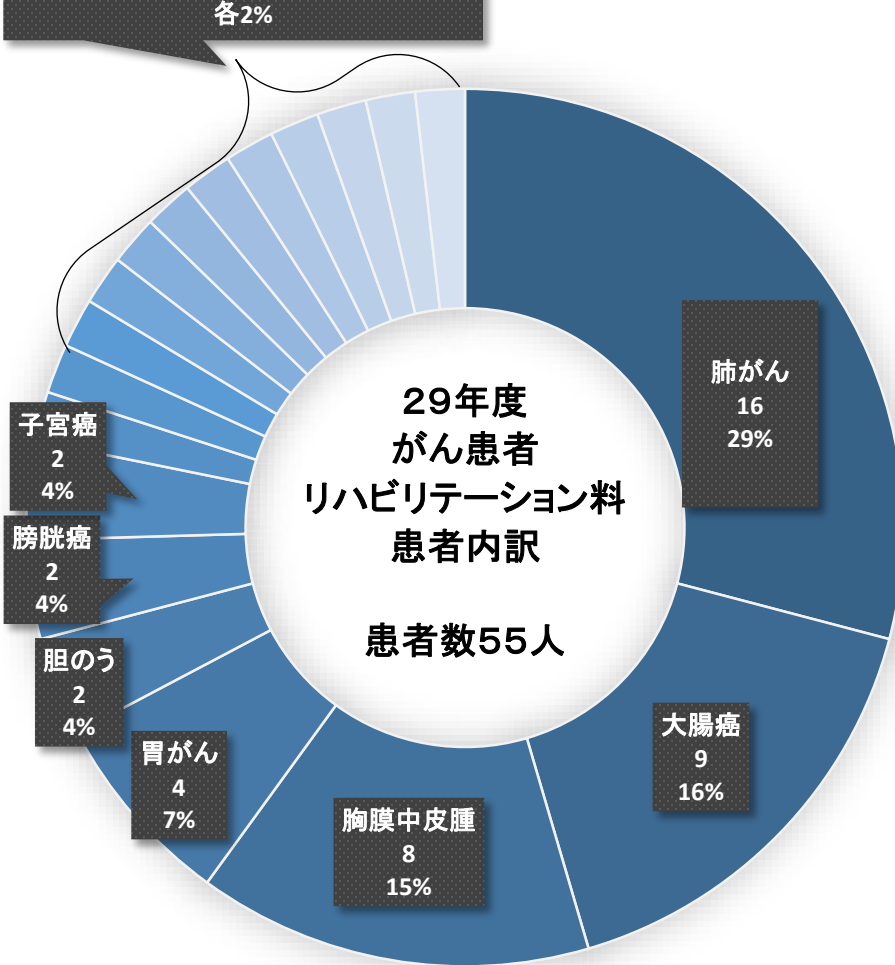




- ・前立腺癌 ・直腸癌 ・卵巣癌
- ・膀胱癌 ・食道癌 ・肝癌 ・舌癌
- ・縦隔腫瘍 ・骨髄腫 ・悪性リンパ腫
- 腹膜偽粘液腫 ・その他
- 各1
- 各2%

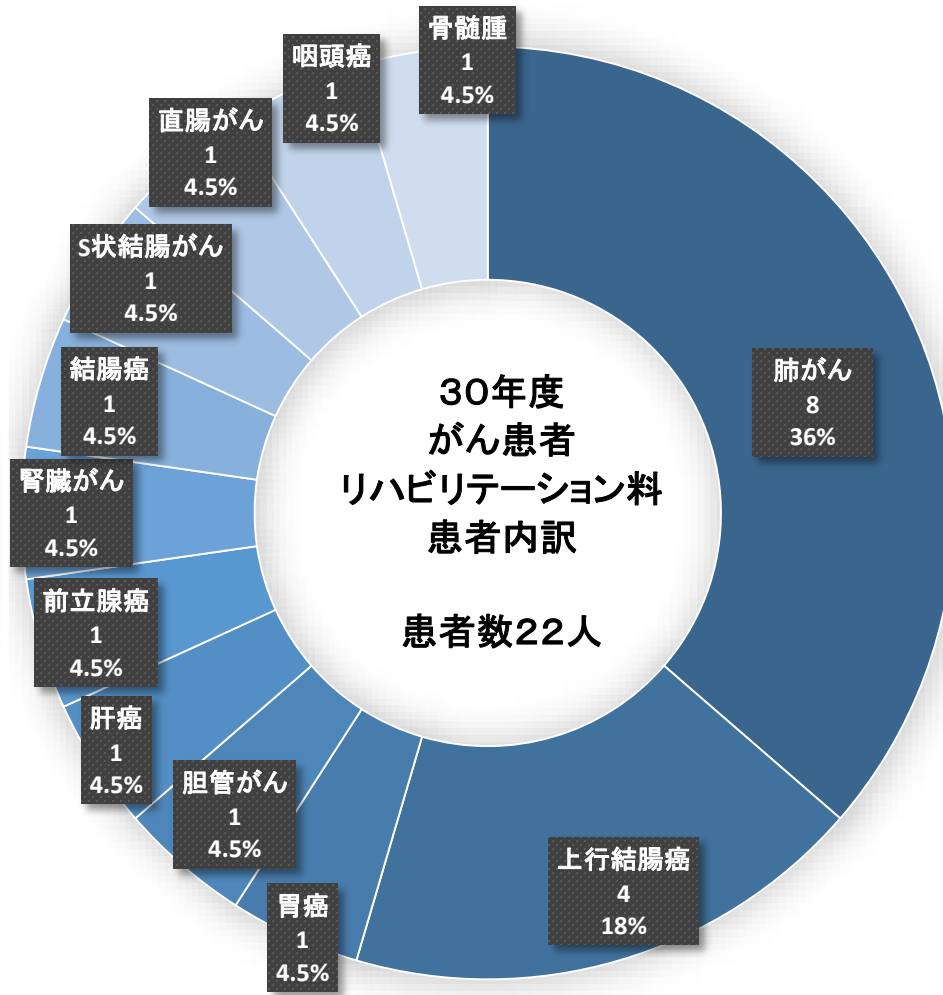
29年度
がん患者
リハビリテーション料
患者内訳

患者数55人

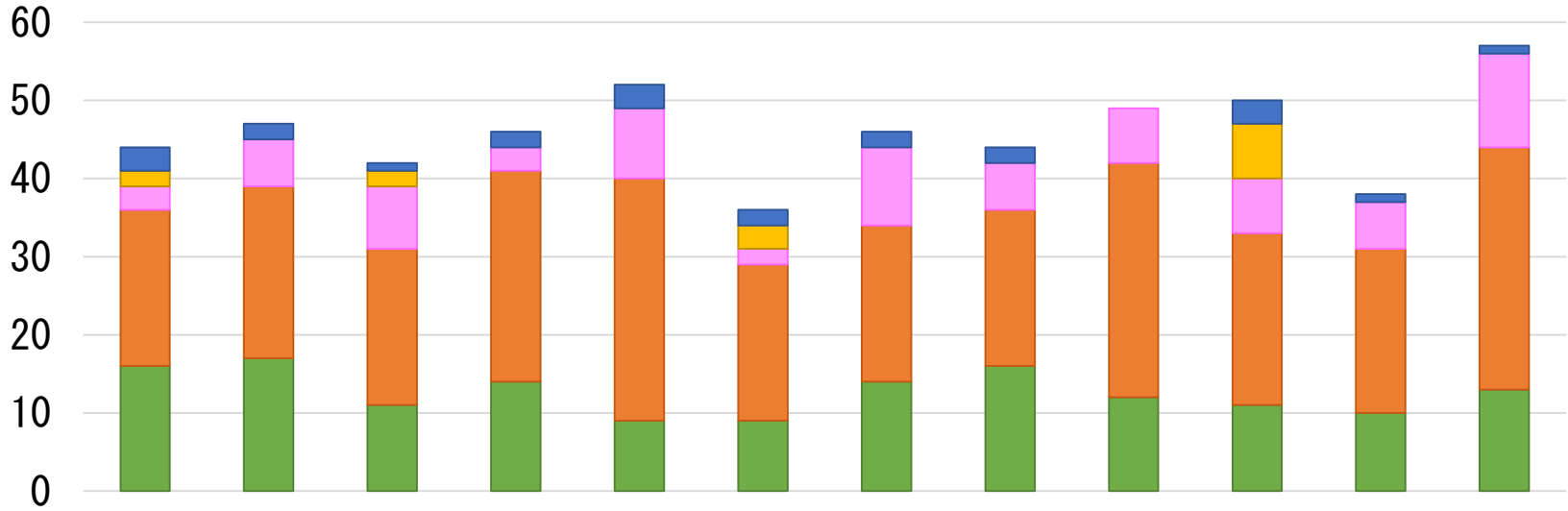


30年度
がん患者
リハビリテーション料
患者内訳

患者数22人



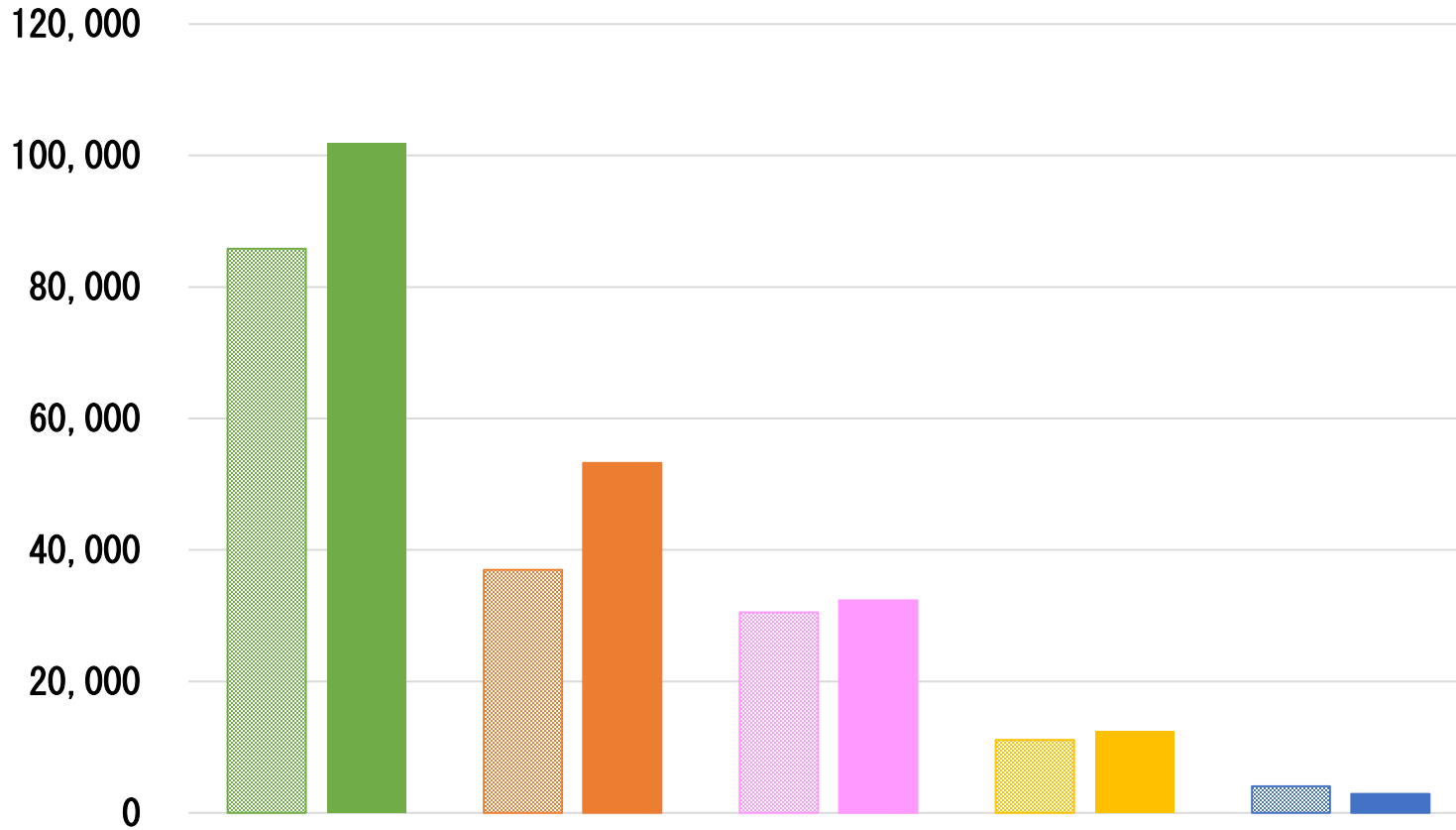
30年度月別新患内訳



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)
がん	3	2	1	2	3	2	2	2	0	3	1	1	22
呼吸器	2	0	2	0	0	3	0	0	0	7	0	0	14
運動器	3	6	8	3	9	2	10	6	7	7	6	12	79
廃用	20	22	20	27	31	20	20	20	30	22	21	31	284
脳血管	16	17	11	14	9	9	14	16	12	11	10	13	152
合計(人)	44	47	42	46	52	36	46	44	49	50	38	57	551

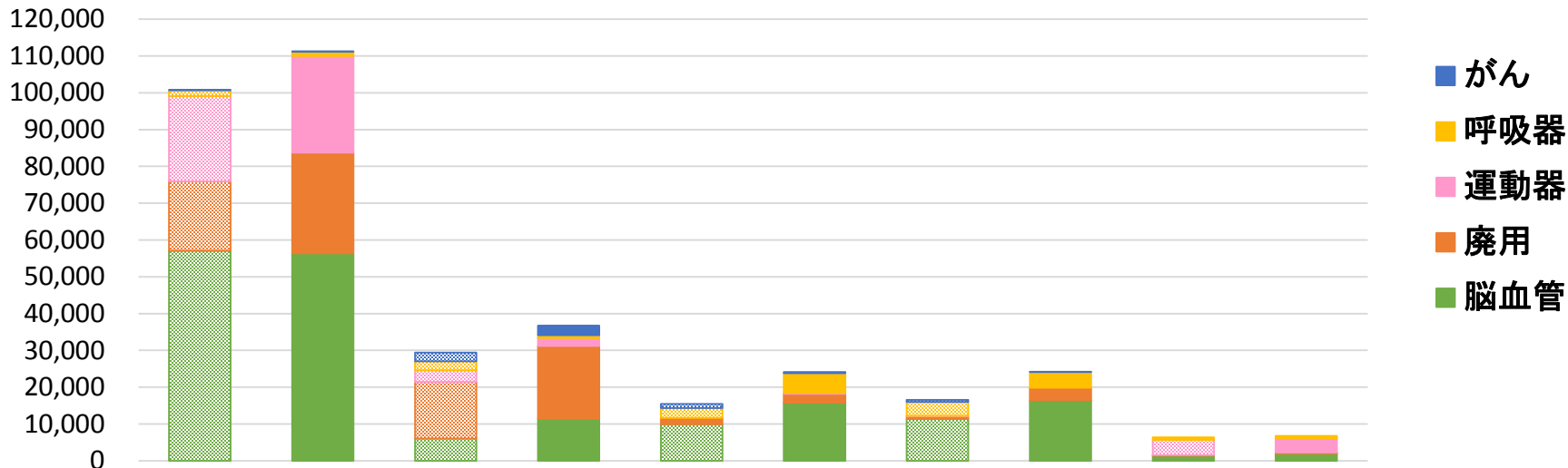
■ 脳血管 ■ 廃用 ■ 運動器 ■ 呼吸器 ■ がん

疾患毎のPT・OT・ST 合計単位数前年比



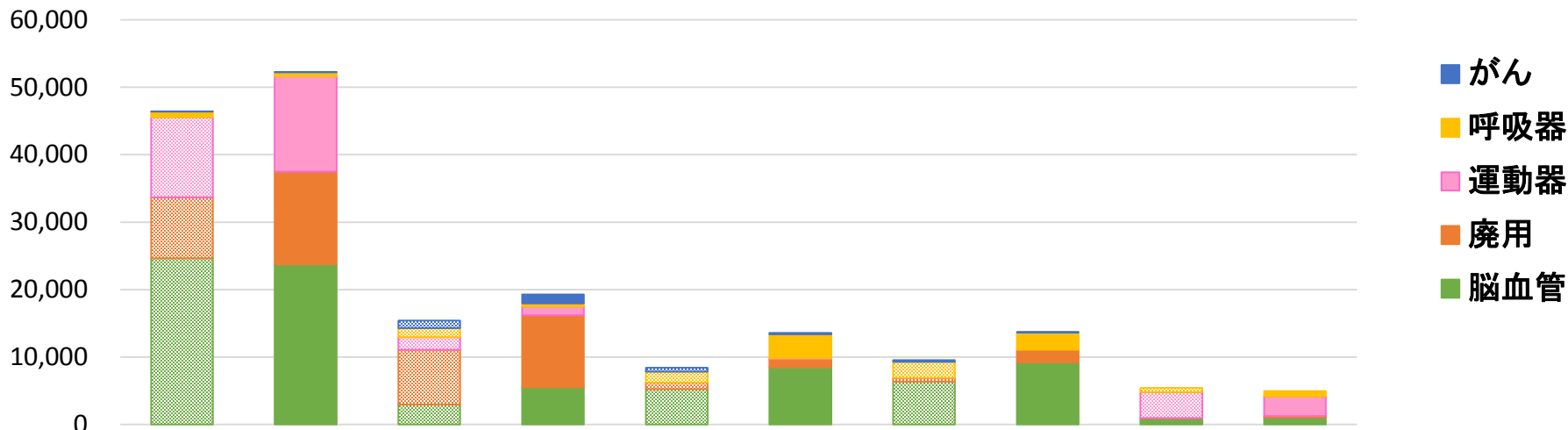
	脳血管	廃用	運動器	呼吸器	がん	合計(単位)
29年度	85,794	37,003	30,506	11,095	4,060	168,458
30年度	101,957	53,234	32,334	12,428	2,922	202,875

理学療法・作業療法・言語療法 病棟別・疾患ごとの総単位数 前年比



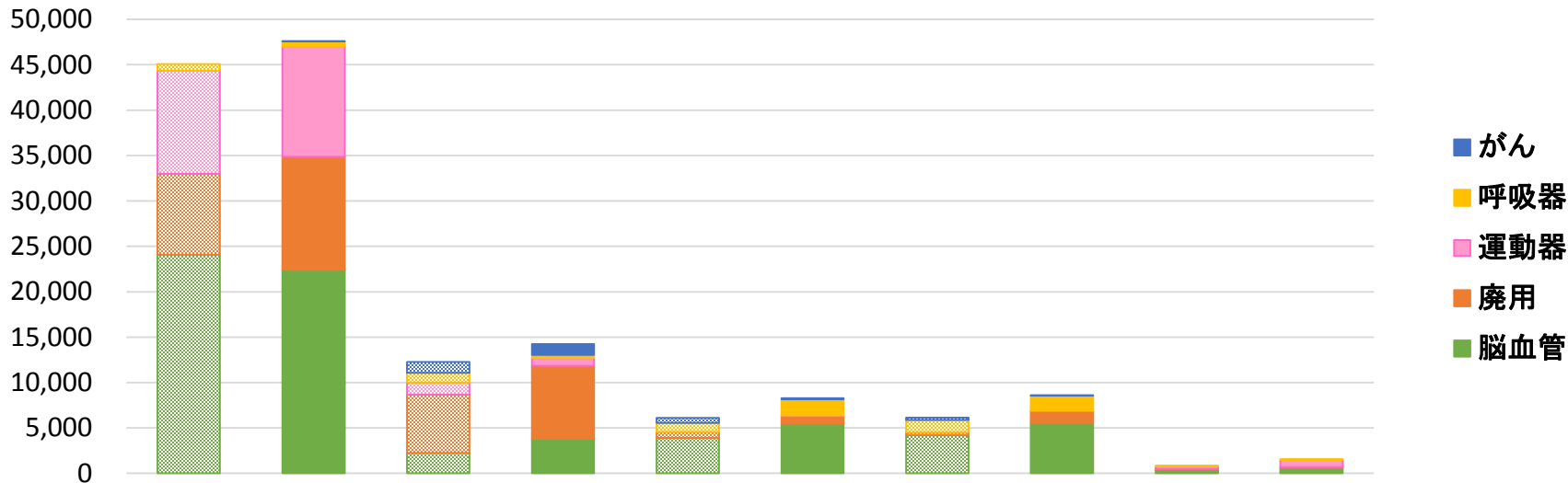
	回復期病棟		一般病棟		療養病棟 1 (コスモス)		療養病棟 2 (ひまわり)		外来		合計 (単位)	
	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度
がん	30	17	2,405	2,558	1,077	324	548	23			4,060	2,922
呼吸器	1,590	1,178	2,404	816	2,664	5,363	3,726	4,257	711	814	11,095	12,428
運動器	23,205	26,297	3,134	2,131	0	184	97	0	4,070	3,722	30,506	32,334
廃用	18,882	27,308	15,406	19,808	1,764	2,466	809	3,337	142	315	37,003	53,234
脳血管	57,052	56,401	6,057	11,384	9,928	15,768	11,323	16,480	1,434	1,924	85,794	101,957
合計 (単位)	100,759	111,201	29,406	36,697	15,433	24,105	16,503	24,097	6,357	6,775	168,458	202,875

【理学療法】 病棟・疾患ごとの単位数 前年比



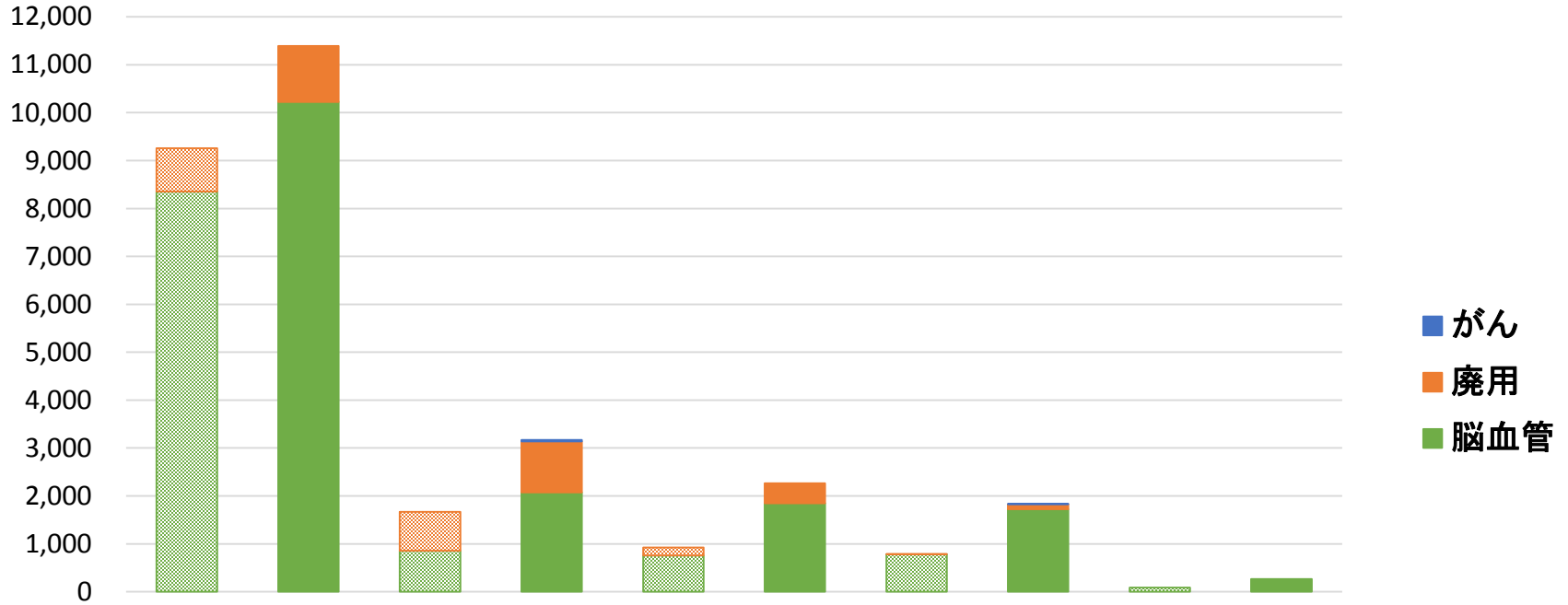
	回復期病棟		一般病棟		療養病棟 1 (コスモス)		療養病棟 2 (ひまわり)		外来		合計 (単位)	
	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度
がん	30	9	1,155	1,359	550	199	284	13			2,019	1,580
呼吸器	823	594	1,335	458	1,655	3,580	2,356	2,581	612	778	6,781	7,991
運動器	11,889	14,156	1,834	1,288	0	125	55	0	3,808	2,906	17,586	18,475
廃用	9,037	13,697	8,149	10,697	935	1,213	525	1,899	71	207	18,717	27,713
脳血管	24,638	23,756	2,959	5,504	5,271	8,450	6,344	9,208	918	1,079	40,130	47,997
合計 (単位)	46,417	52,212	15,432	19,306	8,411	13,567	9,564	13,701	5,409	4,970	85,233	103,756

【作業療法】 病棟・疾患ごとの単位数 前年比



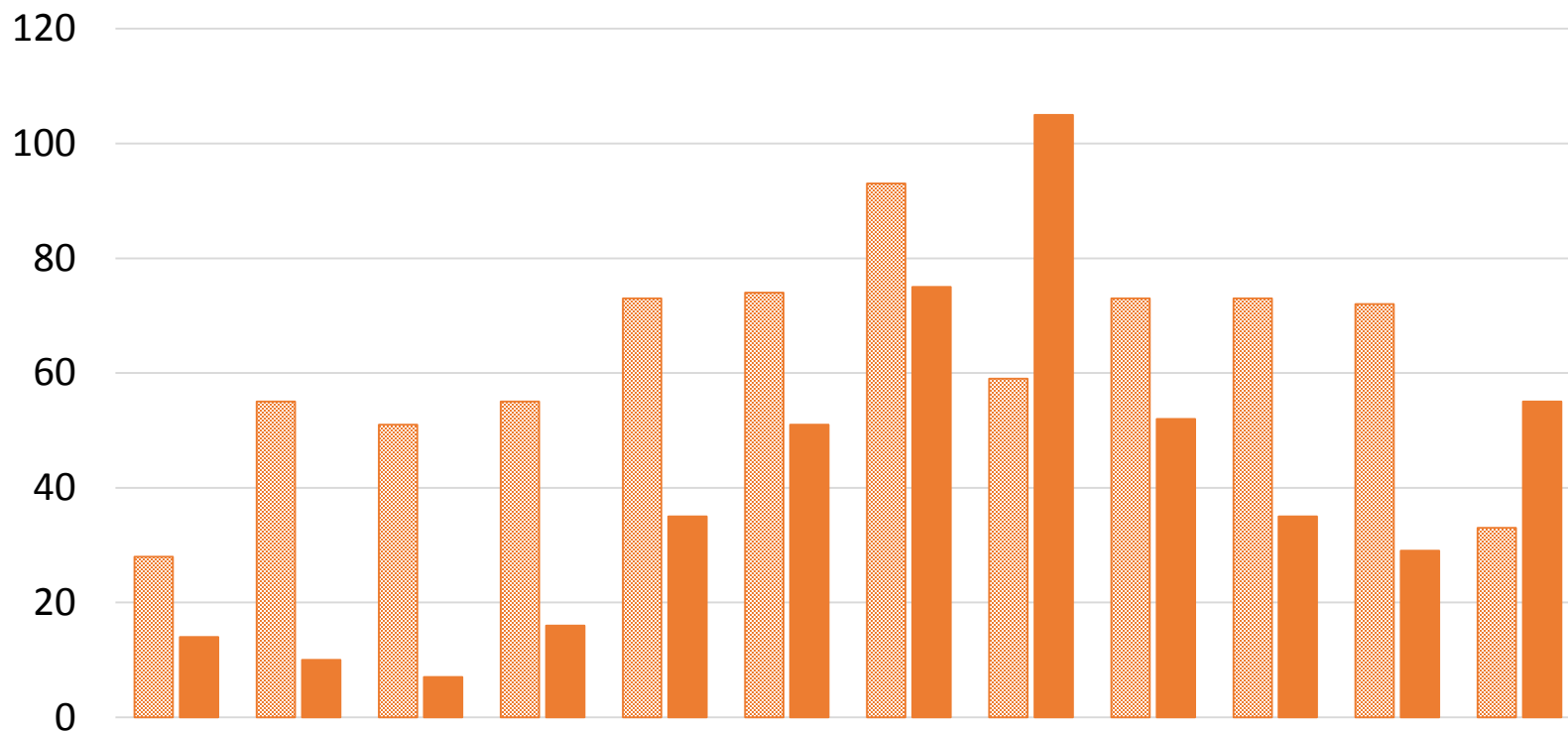
	回復期病棟		一般病棟		療養病棟 1 (コスモス)		療養病棟 2 (ひまわり)		外来		合計 (単位)	
	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度
がん	0	8	1,219	1,199	527	125	255	10			2,001	1,342
呼吸器	767	584	1,069	358	1,009	1,783	1,370	1,676	99	36	4,314	4,437
運動器	11,316	12,141	1,300	843	0	59	42	0	262	816	12,920	13,859
廃用	8,943	12,443	6,441	8,046	661	837	274	1,335	71	108	16,390	22,769
脳血管	24,058	22,423	2,244	3,806	3,901	5,472	4,198	5,547	428	577	34,829	37,825
合計 (単位)	45,084	47,599	12,273	14,252	6,098	8,276	6,139	8,568	860	1,537	70,454	80,232

【言語療法】 病棟・疾患ごとの単位数 前年比



	回復期病棟		一般病棟		療養病棟1 (コスモス)		療養病棟2 (ひまわり)		外来		合計 (単位)	
	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度
がん	0	0	31	0	0	0	9	0	/	/	40	0
廃用	902	1,168	816	1,065	168	416	10	103	0	0	1,896	2,752
脳血管	8,356	10,222	854	2,074	756	1,846	781	1,725	88	268	10,835	16,135
合計 (単位)	9,258	11,390	1,701	3,139	924	2,262	800	1,828	88	268	12,771	18,887

摂食機能療法 月別実施数前年比



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(回)
29年度	28	55	51	55	73	74	93	59	73	73	72	33	739
30年度	14	10	7	16	35	51	75	105	52	35	29	55	484

■ 29年度 ■ 30年度